

第3回千里浜海岸保全対策検討委員会技術専門部会 議事要旨

1. 日 時：平成18年8月2日(水)14時30分～16時00分

2. 場 所：石川県庁11F「1104会議室」

3. 出席者：石田委員、山本委員、鷲見委員、山田委員

4. 議題

- (1) 議事公開の可否について
- (2) 第2回技術専門部会の議事要旨の確認
- (3) 千里浜海岸の保全について
 - 千里浜海岸の汀線位置について
 - 第2回技術専門部会要旨
 - 波浪特性
 - 土砂採取場所検討
 - 養浜砂の流出防止対策検討
 - シミュレーションによる汀線変化(試算)
- (4) 各委員からの意見
- (5) 第3回技術専門部会のまとめ
- (6) その他

5. 議事概要

- (1) 事務局から開催の挨拶が行われた。
- (2) 部会長から議事公開の確認が行われ、委員の了承を得た。
- (3) 事務局から「千里浜海岸の保全」について説明が行われた。各委員からの主な意見・質問及び総括は次項以降の通り。
- (4) 事務局から今後の予定の説明が行われた。
- (5) 事務局から閉会の挨拶が行われた。

各委員からの主な意見・質問

討議者	討議項目	小項目	内容
石田委員長	波浪特性	波浪エネルギー	波浪エネルギーが温暖化に伴う海面上昇や異常波浪などにより年々増加傾向にあるのではないかとのことだが、欠測などもあり必ずしも増加傾向とは言い切れない。
石田委員長	土砂採取場所	採取場所	大量の養浜砂確保では、千里浜と同質砂が得られる周辺砂丘地から採取が有望である。
山本委員			千里浜沖から採取する場合、周辺環境への影響や漁業への影響が生じる可能性がある。
鷺見委員			金沢港の堆積土砂は、長期的な千里浜海岸の保全を考えるうえで有効利用する必要がある。
石田委員長	土砂採取場所 検討	投入場所	ドライウェイより陸側へ養浜する後浜貯砂養浜の実施が望ましい。
鷺見委員			後浜の投入位置については、波の遡上高を検討してはどうか。
石田委員長			金沢港の土砂は細粒分を多く含んでいるため、直接千里浜海岸に投入するとなぎさドライウェイや海水浴場へ影響が出る可能性があることから、金沢港より北側の沖合で、海流により千里浜海岸へと砂が到達しそうな箇所を推定し、そこへ投入するのがよい。
石田委員長	流出防止対策	対策工	養浜砂の流出防止対策として設置する水中突堤(サンドパック)は、最小限にとどめるべき。
山本委員			サンドパックの耐久性については十分検討すべき。
山田委員	その他意見	保全対策	千里浜海岸の保全対策には、大規模養浜が適している。
山本委員		地元との連携	周辺砂丘地からの養浜砂採取に際しては、地元の理解と協力が必要であり、跡地処理なども考える必要がある。
石田委員長	総括		養浜効果向上のため、海岸線沿の養浜(直接置砂養浜)だけでなく、ドライウェイより陸側にも養浜(後浜貯砂養浜)を実施すべきである。
石田委員長			中長期的観点から土砂動態に基づいた広域的な「総合土砂管理」が必要である。その中で、堆砂域の土砂を侵食域に有効利用するサンドバイパス、サンドリサイクルなどを考える必要がある。
			養浜砂の流出防止対策がなければ、養浜が限りなく必要なことから、先行施工も考えていく必要がある。 砂流出防止工としての構造物設置については、構造や設置場所などを検討していく必要がある。
			技術専門部会として一定の方向性が出たことから、秋頃に予定している「検討委員会」に報告し議論する。